

## 平成31年 第2回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成31年2月6日(火)  
午後3時～3時50分、4時～4時40分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員
- |         |         |
|---------|---------|
| 教 育 長   | 新 子 寿 一 |
| 教育長職務代理 | 山 崎 裕 行 |
| 委 員     | 田 中 保 和 |
| 委 員     | 近 藤 温 子 |
| 委 員     | 西 村 弥生子 |
4. 出席した職員
- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 教 育 部 長         | 福 島 潔   |
| 教 育 監           | 岡 本 泰 典 |
| 教 育 部 次 長       | 石 垣 好 啓 |
| 教 育 総 務 課 長     | 寺 川 款   |
| 学 務 課 長         | 安 田 典 子 |
| 学 務 課 参 事       | 松 岡 裕 士 |
| 指 導 課 長         | 石 田 智   |
| 社 会 教 育 課 長     | 磯 部 賢 二 |
| 文 化 財 課 長       | 安 村 俊 史 |
| 公 民 館 長         | 一 松 孝 博 |
| 図 書 館 長         | 山 角 清 治 |
| 健 康 福 祉 部 長     | 石 橋 敬 三 |
| こ ども 政 策 課 長    | 北 西 浩 二 |
| こ ども 育 成 課 長    | 石 橋 智 成 |
| 事 務 局 教 育 総 務 課 | 後 檀 洋 文 |

### 5. 議事案件

議案第1号 平成31年度柏原市立学校園管理職人事及び柏原市教育委員会事務局指導主事等人事について

### 6. 報告事項

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長： 皆さんこんにちは。平成31年第2回 定例教育委員会会議を開催いたします。

本日の会議録署名は、田中委員です。よろしくお願いたします。次に、第1回定例教育委員会会議録につきまして、事前に送付しておりますが、何かご意見はございますか。

委員全員： （異議なし）

新子教育長： ないようですので、会議録は承認することといたします。

それでは本日の議事に入りますが、議案は1件でございます。今回の議案につきましては人事案件であることから、非公開で審議をしたいと考えております。各委員におかれましては、ご異議ございませんでしょうか。

委員全員： （異議なし）

新子教育長： それでは、議案第2号平成31年度柏原市立学校園管理職人事及び柏原市教育委員会事務局指導主事等人事については非公開としまして、後ほど教育委員会と事務局担当課で審議することといたします。

それでは、先に報告事項のほうに移りたいと思います。まず、平成31年度の主要事業について、教育総務課より簡潔に説明をお願いします。

各課(館)長： 【主要事業計画について説明】

新子教育長： 主要事業計画について説明をいただきましたが、ご質問等ございましたらお願いたします。

近藤委員： 12ページの貸館業務のところに入っていないのはなぜですか。

一松課長： こちらにつきましては、予算を伴うものではないのですが、公民館の大きな事業ということで、例年あげております。

田中委員： 全体を見ますと、今年は増えているところが多いので有難いのですが、市全体の予算が膨らんだのではなくて、教育にかなり重点化されたと解釈してよいのですか。

福島部長： 今回は、台風の被害や地震の被害もございましたが、人の命にかかわることは早急に対処する必要があるだろうということで、大部分は認めていただきました。また、遅れておりますICTの整備なども、他市の状況を鑑みてどうしてもやらないといけないということで予算をつけていただきました。固有の事業としては、国分中学校のグラウンド整備もありますので、今回については、教育の予算はよくつけてもらえたと考えております。

田中委員： 台風とかの天災に関しては、国からの補助などはないのでしょうか。

福島部長： 例えば、玉手中学校や柏原中学校の体育館の屋根が被害を受けましたが、そういうものについては災害用の補助金として、あくまでも国が計画した部分についての3分の2ですが、そのような補助金が用意されています。

山崎委員： 以前に尋ねたかもしれませんが、放課後児童会は、以前は社会教育課でしたが、今はどちらになってますか。

石橋課長： こども育成課です。

山崎委員： 今回の資料には出ていないのですが、あらましを教えてください。対象等どのような状況ですか。

石橋課長：平成27年度に制度改正がございまして、1年生から6年生までとなっております。保育ニーズの増加にあわせて放課後児童会のニーズも高まってまして、少しずつ人数が増えております。現在申請受付中ですが、希望者は800人を超える予想となっております。

山崎委員：時間は何時までですか。

石橋課長：以前は授業終了後から午後5時まででしたが、現在は午後6時30分までに延長しております。ここで併せて報告させていただきますが、現在土曜日や夏休み等の開始時間は午前8時30分ですが、これを早めてほしいという要望がございまして、今回3月議会で午前8時からにするというような条例改正の議案をあげる予定でございます。アンケート調査等をした結果、開始時間を早めてほしいとのご意見が半数ほどございました。終了時間の延長希望は15パーセント程度でしたので、まずは要望の高い前の延長から始めたいと考えており、7月からの延長を予定しております。

山崎委員：たいへん手厚い制度にさせていただいて、市民の皆さんも喜んでおられると思います。ぜひよろしくをお願いします。

先ほど田中委員もおっしゃられましたが、教育長を始め皆さん頑張ってください、多くの予算が付きました。予算が付いたからには、成果を出す必要があるので、事務局の皆さんのより一層の頑張りが求められると思います。期待をしていますので、どうぞよろしくをお願いします。特に学校教育に関して、教育委員会事務局の皆さんと学校が力を合わせて、柏原の子どもたちをより良く育てていくというふうにお願いします。事業計画を見て、指導課では平成31年度もたくさんの事業をしてくださるのだなと喜んでいたのですが、特に12ページのスタディアフタースクール（SAS）事業は、事務局と学校が力を合わせて子どもを育てていくというよりも、厳しい家庭にある子どもや学習習慣がついていない子ども、あるいは学力に課題のある子どもたちをどう育てていくかということ言えば、家庭や地域にお願いすべきことや学校がすべきことはもちろんあるけれども、教育委員会の事務局としてできる事業は、このスタディアフタースクールしかないだろうと思っています。三宅前教育委員も学校に行き実際に見せていただき、どういうところに課題があるのか、どのようにしていけばいいのかなど事務局とも話をしながら、私たちも参加させていただいてきました。ぜひ、SASについては私たちも十分注意をさせていただいて見せていただきたい、また情報を聞かせていただきたいと思っております。この事業を通して学力がついてくる、勉強が楽しくなった、わかるようになったという子どもが増えてくることを期待したいと思います。これは要望ですが、ぜひよろしくお願いいたします。

西村委員：精神疾患で休職した公立高校教員の方が増加しているというニュースがありました。先生が元気でないと子どもたちも元気でいられないので、先生方のメンタル的なサポートといえますか、そういうところは予算的に何かあるのでしょうか。

岡本教育監：市単費としては特に予算はありませんけれども、府教委から窓口等の紹介であるとか、いわゆる産業医の面接を受けられるシステムについては整備されておりますので、管理職から勤務時間が長すぎるというような方々に対しては声をかけて受けていただくということはしております。

近藤委員： 3ページの「日本語教室」はどこで行われているのですか。

礒部課長： 毎週土曜日に国分図書館4階において開催しております。講師は2名で90分の講座を習熟度別に4クラスとなっており、10時から13時の間で実施しております。

石垣次長： 1年に2回程度は講師の先生と大阪教育大学の教授の先生を交えて、教室の現状や方針等についてのミーティングも実施しております。

近藤委員： 子どもも参加しているのですか。

石垣次長： ほとんどが外国からこちらに働きに来られている大人です。日本語学習以外にも、日本文化の紹介や研修として年1回社会見学に行ったりもしています。

近藤委員： もっと少ない時間かと思いましたが、充実した内容ですね。

石垣次長： 講師の先生は、少ない報酬で本当によくやってくさっています。

新子教育長： 他よろしいですか。それでは、その他報告ということで、「柏原の青少年健全育成を考える2019」につきましてお願いします。

礒部課長： 2月2日土曜日に開催させていただきました。社会教育団体や学校関係、一般の方を含めまして111名の皆様にご来場いただきました。落語家の桂あやめさんに女性の視点から見られた子育てなどについて笑いを交えて楽しくご講演いただきました。次回の実施についても今回同様に社会教育委員会議にお諮りをして決定してまいりたいと考えております。以上でございます。

新子教育長： 次に「柏原シティキャンパスマラソン」についてお願いします。

石垣次長： 教育委員の方々には事前にご案内等をさせていただいております。2月17日日曜日9時から開会式となりますので、ご都合調整の上ご出席賜りたいと思います。参加希望者数は844名となっております。約半数の方が他市からの申込みとなっております。

新子教育長： 最後、こども政策課お願いします。

北西課長： 私からは、幼稚園と保育所の人事交流に関する報告をさせていただきます。幼保再編整備に伴う認定こども園の開園を見据えまして、幼稚園と保育所が質の高い教育や保育の相互的な提供を行うため、平成29年度から実施しております幼保の人事交流のことについてご報告をいたします。平成30年度につきましては、幼稚園教諭2名を柏原保育所と円明保育所へ、保育士2名を柏原西幼稚園と堅下幼稚園に、それぞれ担任という形で配属いたしました。人事交流者からは、幼稚園・保育所の運営方法の違いを学び、それぞれの施設における教育や保育についての理解が深まったという報告を受けております。平成31年度につきましても、引き続き手法や内容について協議・検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

田中委員： この幼保の交流をしている方は、どちらも免許をお持ちなんですか。

北西課長： はい。両方の免許を所持しています。

石橋部長： 少しだけ補足させていただきます。現在の人事交流が後には人事異動というような形に持っていくという方向性を持ちながら進めておりますが、幼稚園、保育所は勤務時間やそもそもの制度が違いますので、かなりストレスのあることで、その中で頑張っているということになります。昨年この場で、「来年は管理職についても検討していきたい」とご報告させていただきました。この1年間の交流の状況も確認しながら次年

度のことを関係課で協議をしていただいております、今年思い切ってやりたいという思いでぎりぎりまで協議をしていく予定ですが、もしかしたら1年ずれ込む可能性が出てきておりますので、3月に改めて報告をしたいと考えております。あまり拙速にやりすぎてストレスになってもいけませんし、このまま制度の違いを越えて円滑に進むようにと考えておりますので、ご報告させていただきます。

田中委員： 勤務時間、勤務形態、また給与も違いますよね。

石橋部長： 幼稚園教諭の給与を保育士に合わせるという作業については既にできておりますので、給与についてハードルはなくなりました。学校共済と公務員の共済が違うなど仕方のない部分もありますが、そのあたりは大きな障害にはならないだろうと思います。勤務時間については、子どもさんがいる時間が違うため、これまでの仕事のルーチンが違いますので、このあたりは時間をかけて進める必要があります。認定こども園が平成33年度にスタートしますので、それと並行して徐々にやっていければと考えております。

新子教育長： 管理職交流というのは難しいかもしれませんね。

石橋部長： 子どもさんの数がまったく違いますし、保育所は1歳半から5歳までを預かります。幼稚園では密度の高い幼児教育が行われています。それらの良いところを合わせていけたらと思っておりますが、こちらのイメージ通りに進めることは困難かと思っておりますので、徐々に理解を深めていただけたらと考えております。また、人事交流を行うからには、当人が「来て良かった」と感じるようなものであってほしい、悪い印象で戻ってほしくはないと思っております。ですので、交流を強引には進めにくいところがございます。

新子教育長： わかりました。他に報告事項はございませんか。

無いようですので、日程確認に移ります。(3月の行事等を確認)

新子教育長： 次回、第3回の定例教育委員会会議は3月28日3時からでございます。第4回が4月10日同じく3時からでございます。議案数や内容等によりまして時間の変更があるようでしたら、事務局からご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。そうしましたらこれで一旦終了させていただきますので、休憩の後、人事案件について再開させていただきます。ありがとうございました。

#### 【休憩】

新子教育長： それでは、教育委員会会議を再開いたします。議案第2号について、事務局から説明をお願いします。

安田課長： (案件について説明)

- 質疑応答 -

新子教育長： 審議の結果、議案第2号を原案通り承認してよろしいですか。

委員全員： (異議なし)

新子教育長： それでは、議案第2号平成31年度柏原市立学校園管理職人事及び柏原市教育委員会事務局指導主事等人事については、原案通り承認いたします。

以上をもちまして、平成31年第2回定例教育委員会会議を閉会します。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成31年 月 日

柏原市教育委員